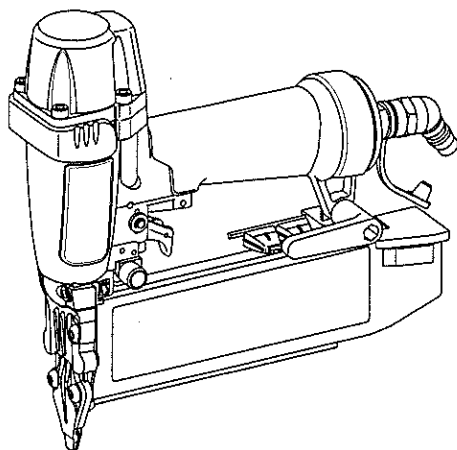
ヒューマンハードウェアのマキタ
人のくらしとすまいのために……

makita

取扱説明書

仕上釘打

モデルAF551

このたびは**仕上釘打**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

⚠警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 必ず保護メガネを着用して使用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検し、正常に作動しない場合は絶対に使用しない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する際は、必ずエアホースを外す。
- 使用時以外は、絶対にトリガに触れない。
- エアコンプレッサ以外の動力源を絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物の近くで、絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

INDEX

1. 各部の名称

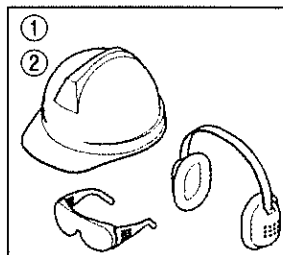
ハウジング
六角棒レンチ
エアプラグキャップ
ノーズアダプタ
エアプラグ
プロテクタ
フック
マガジンレバー
トリガ
スライドドア
マガジン
コンタクトアーム
アジャスタ

2. 安全上の注意点

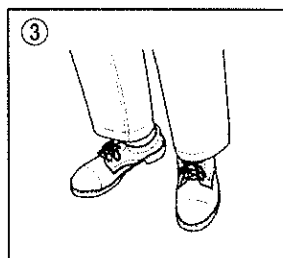
使用前

⚠警告

①使用の際は、必ず保護メガネおよびヘルメットを着用して下さい。

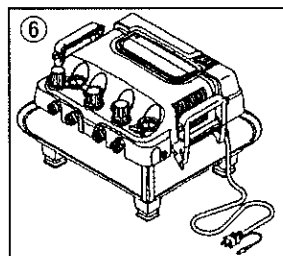
打ち損じの釘が目に入ると危険です。
作業中は作業者および周りの人も保護メガネ･ヘルメットを着用して下さい。

②発射(排気)音や排気エアから耳を保護するため、防音保護具を着用して下さい。

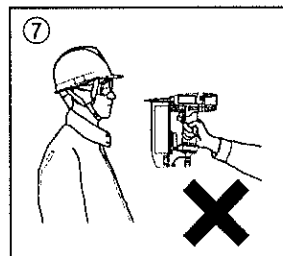
③作業環境に応じて、安全靴を着用して下さい。

④作業環境は整理整頓を行い、足下に注意して下さい。

⑤指定の釘を使用して下さい。

指定の釘以外のものを使用すると、故障や釘詰まりの原因になるだけでなく、思わぬ事故や施工上の欠陥になる場合があります。必ず、指定の釘をご使用下さい。

⑥エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないで下さい。

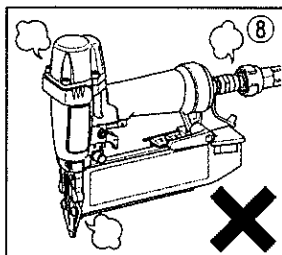
本製品はエアを動力源とする工具です。圧縮エア以外(例:高圧ガス、酸素等)を使用すると異常燃焼を起こし、爆発の危険を伴います。

⑦エアホース接続の際、次の事を厳守してください。

･射出口に触れたり、対象物に当てた状態にしない。
･射出口を人体に向けない。

⚠警告

⑧釘を装填する前に、エアホースを接続し、次の事を確認して下さい。

・エアホースを接続しただけで、本製品が作動しないか。

・エア漏れや異常音を発する事はないか。

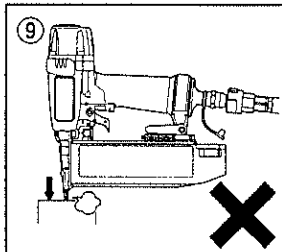
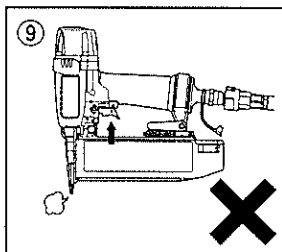
上記の様な異常が発見された場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または当社営業所まで、点検・修理に出して下さい。

⑨安全装置が正常に作動するか確認して下さい。正常でない場合は、絶対に使用しないで下さい。

釘を装填する前にエアホースを接続し、次の事を確認して下さい。

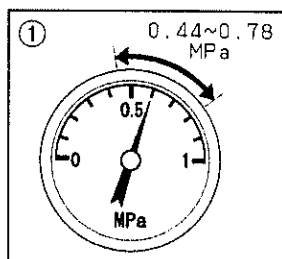
・トリガを引いただけで、作動音がする。

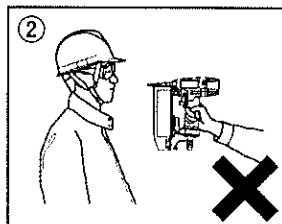
・コンタクトアームを対象物に押し付けただけで 作動音がする。

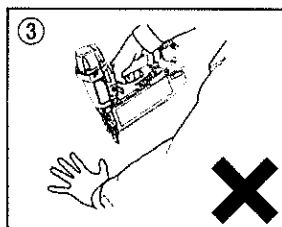
上記の様な異常が発見された場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または当社営業所まで、点検・修理に出して下さい。

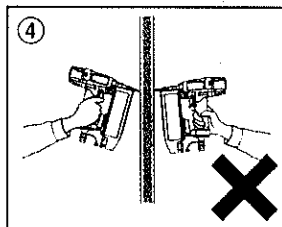
使用中

⚠警告

① 使用圧力範囲でご使用下さい。

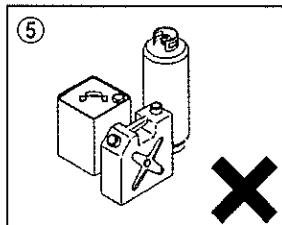
本製品の圧力範囲は0.44～0.78MPa(4.5～8.0kgf/cm²)です。この範囲内で使用して下さい。圧力が0.44MPa未満に低下している場合、打込み不良·空打ち等の現象が発生し、本製品の性能が充分に発揮されません。また、0.78MPaを越えた圧力で使用すると、本製品の耐久性能が低下し、破損·破裂により人体へ損傷を与える危険性があります。

② 射出口を絶対に人体に向けないで下さい。

誤って発射された場合、大変危険ですので、人体に射出口を絶対に向けないで下さい。

③ 射出口の近くには、絶対に手を近づけないで下さい。

材料に手を添えて使用する場合、手を射出口から30cm以上を目安に離し、安全を確認の上ご使用下さい。
釘が跳ね返って飛んできたり、誤って手を打つ危険性があります。

④ 向かい合っての同時打ち作業は絶対にしないで下さい。

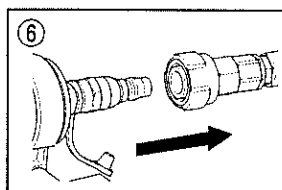
向かい合っての同時打ち作業を行う場合、材料を釘が突き抜けたり、打ち損じた釘が前の作業者に当たり、思わぬ事故を引き起こす場合があります。

⑤ 揮発性可燃物の周りでは、絶対に作業しないで下さい。

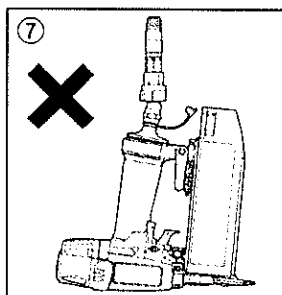
本製品は、釘が発射されて対象物に打ち込まれる際、火花が散ることがあります。揮発性可燃物(ガソリン、シンナー、プロパンガス等)の近くで作業すると、火花による引火で爆発や火災の原因になります。

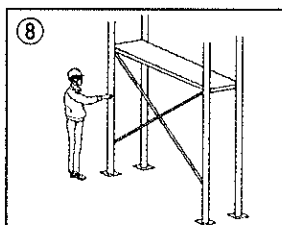
使用中

⚠警告

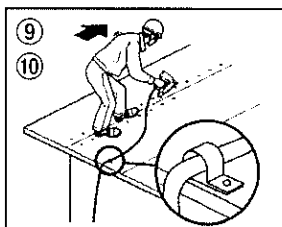
⑥次の場合はエアホースを外して下さい。

・使用しない時や、作業を中断する時。
・釘を装填する時。
・打込み深さ調整や、釘詰まりを直す時。
・持ち運ぶ場合や、手渡しする時。

誤って釘が発射された場合、大変危険です。

⑦エアホースを持って、本製品を吊らさないで下さい。

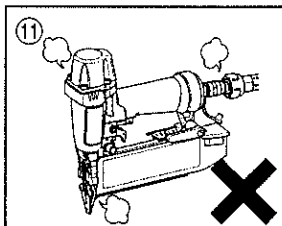
高所での作業終了後、エアホースを持って本製品を吊り下げる事は、大変危険です。人体に接触し、思わぬ事故が発生するばかりか、本製品の落下による損傷の原因となります。

⑧足場の安全性を充分に確認して下さい。

足場を利用して作業する場合、転落することのないように、充分に安全を確保するようにして下さい。

⑨高所作業の場合、エアホースを固定して下さい。

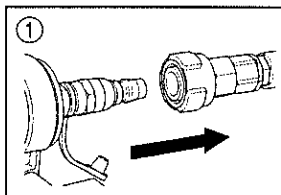
本製品が落下すると、歩行者や他の作業者に危険が及びます。落下を防ぐため、エアホースは固定して下さい。

⑩傾斜面(屋根など)での作業は、下から上に向かって作業して下さい。

下に向かって作業すると、足を踏み外す危険があります。

⑪使用中に異常を感じたら、すぐ使用を中止して下さい。

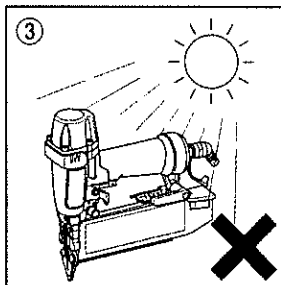
異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または当社営業所まで、点検・修理に出して下さい。

使用後

⚠警告

①作業後は、必ずエアホースを外して下さい。

②作業後は、必ず釘を抜き取って下さい。

釘をマガジン内に残しておくと、次に使用する際、誤って作動した場合に、思わぬ事故を引き起こすことがあります。

③直射日光を避けて下さい。

本製品や、エアコンプレッサ、エアセットは、直射日光に長時間当てたまま放置しないで下さい。

④本製品を絶対に改造しないで下さい。

本製品は使用者の安全を考えて設計･製造されています。お客様の都合で改造したり、正規部品以外を取り付けて使用する事は、大変危険ですので、絶対に行わないで下さい。

3. 製品仕様と用途

商品名	AF551
寸法(H×W×L)	240×53×257 ㎜(フック除く)
質量	1.2kg
使用釘	仕上釘　15～55㎜
	超仕上釘　15～50㎜
使用圧力範囲	0.44～0.78MPa(4.5～8.0kgf/cm²)
使用ホース	内径6.5 ㎜以上　長さ30m以内
使用オイル	タービン油(JIS2種 ISO VG32)
安全装置	ノーズスライド方式、空打ち防止機構
打込み深さ調整	ダイヤル式(調整幅3㎜)
装填本数	1連(100本)
標準付属品	ノーズアダプタ2個、セーフティゴーグル(保護メガネ)、油サシ(タービン油 JIS2種 ISO VG32)、六角棒レンチ3、4
使用用途	回り縁、幅木などの化粧材各種

4. エア消費量

使用圧力 MPa(kgf/cm²)	1サイクル当たりのエア消費量 リットル
0.44(4.5)	0.64
0.49(5.0)	0.68
0.54(5.5)	0.73
0.59(6.0)	0.79
0.64(6.5)	0.85
0.69(7.0)	0.93
0.74(7.5)	1.02
0.78(8.0)	1.11

※単発打ちでのエア消費量です。連続打ちの場合とは異なりますので、エアコンプレッサ選定の目安にして下さい。

5．使用釘一覧

本製品は、下の表に示す超仕上釘と仕上釘が使用できます。
釘は１連に100本連結されています。
釘は弊社指定の釘を使用して下さい。

仕上釘（メッキ）					
色	チャ	ライトメープル	ウスチャ	ベージュ	シロ
足長(mm)	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号
15	F-00187	—	F-00190	F-00206	F-00219
20	F-00222	—	F-00235	F-00248	F-00251
25	F-00264	F-00277	F-00280	F-00293	F-00309
30	F-00312	F-00325	F-00338	F-00341	F-00354
35	F-00367	F-00370	F-00383	F-00396	F-00402
40	F-00415	F-00428	F-00431	F-00444	F-00457
45	F-00460	F-00473	F-00486	F-00499	F-00505
50	F-00518	F-00521	F-00534	F-00547	F-00550

仕上釘（ステンレス）				
色	無地	チャ	ベージュ	シロ
足長(mm)	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号
15	F-00563	—	—	—
20	F-00576	—	—	—
25	F-00589	—	F-00592	F-00608
30	F-00611	—	—	—
35	F-00624	—	F-00637	F-00640
40	F-00653	—	—	—
45	F-00666	F-00679	F-00682	—
50	F-00695	—	—	—

超仕上釘					
	メッキ				ステンレス
色	チャ	ウスチャ	ベージュ	シロ	無地
足長(mm)	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号
15	F-00701	F-00714	F-00727	F-00730	F-01028
20	F-00743	F-00756	F-00769	F-00772	F-01031
25	F-00785	F-00798	F-00804	F-00817	F-01044
30	F-00820	F-00833	F-00846	F-00859	F-01057
35	F-00862	F-00875	F-00888	F-00891	F-01060
40	F-00907	F-00910	F-00923	F-00936	F-01073
45	F-00949	F-00952	F-00965	F-00978	F-01086
50	F-00981	F-00994	F-01002	F-01015	F-01176

6. 使用方法

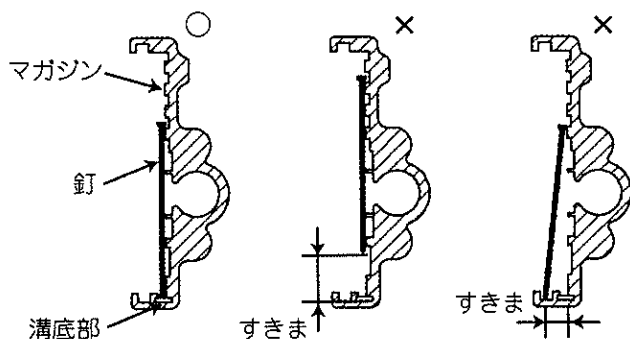
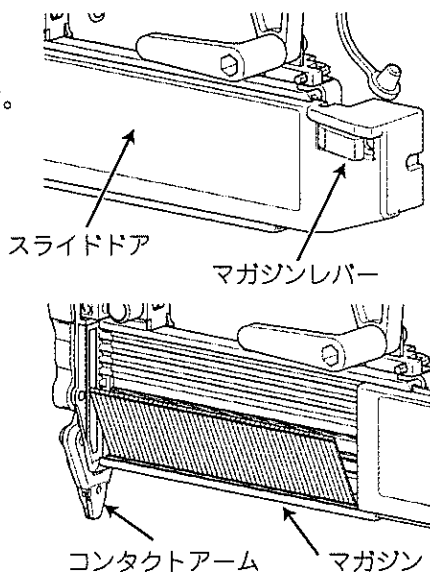
釘の入れ方

① まずエアホースを外します。

② マガジンレバーを押し、スライドドアを開けます。

③ 釘の先端をマガジン底部の溝に確実に入れ、
釘側面をマガジンに押し当てます。

④ 釘をマガジンに押し当てながらスライドし、
コンタクトアーム内へ押し込みます。

⑤ マガジン後方を押して、マガジンを閉じます。

⚠警告
● 釘を装填する際は、必ずエアホースを外して下さい。

⚠注意
● マガジンを強く押し戻すと釘が変形したり、ばらばらになり釘詰まりの原因となります。 マガジンは静かに押し戻して下さい。 ● 長さの違う釘を同時に装填しないで下さい。

釘の抜き取り方

⚠警告

●釘を抜き取る際は、必ずエアホースを外して下さい。

① まずエアホースを外します。

② マガジンレバーを押し、スライドドアを開けます。
釘をマガジン内の溝から抜き取ります。

空打ち防止機構について

本製品には、空打ち防止機構が装備されています。
マガジン内に釘が入っていない場合、および釘を全て打ち終えた場合、コンタクトアームが固定され動かなくなります。

⚠注意

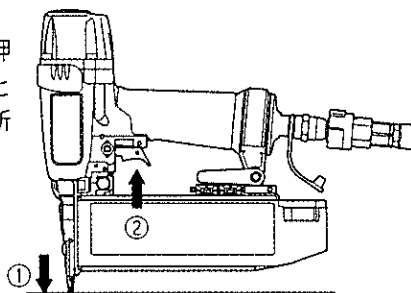
●スライドドアを開くと空打ち防止機構が無効になります。
●空打ちを続けると本製品の故障の原因となります。

釘の打込み方法(自動連単切替機能)

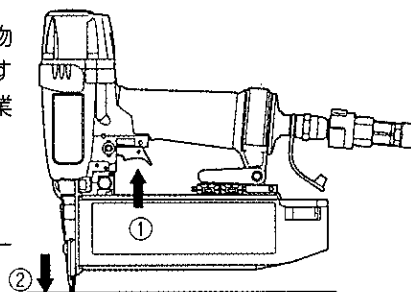
本製品には「自動連単切替機能」が装備されています。
「自動連単切替機能」とは、打込み操作方法により「連続打ち」、「単発打ち」が切り替わる機能です。

●「単発打ち」方法

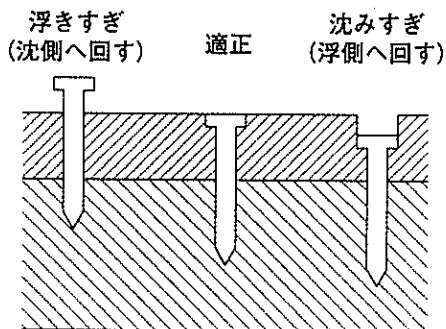
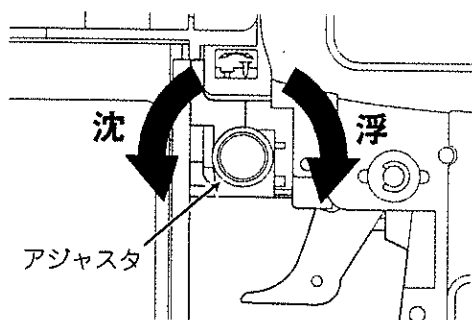
単発打ちとは、打込対象物にコンタクトアームを押し当て、トリガを引く操作で釘を1本ずつ打つことができます。主に仕上げを重視する場合や狙った所に釘を打つ場合に適しています。

①打込対象物にコンタクトアームを押し当てます。
②トリガを引きます。

●「連続打ち」方法

連続打ちとは、トリガを引いたまま打込対象物にコンタクトアームを押し当てる操作を繰り返すことで、連続　的に釘を打つことができます。作業スピードを重視　する場合に適してします。

①トリガを引きます。
②トリガを引いたまま打込対象物にコンタクトアームを押し当てることで、連続打ちができます。

※単発打ちでトリガを引いたまま、再度コンタクトアームを打込対象物に押し当てても釘は発射されません。続けて連続打ちする場合は、トリガから指をいったん離してから、連続打ちの操作を行って下さい。

アジャスタ(打込み深さ調整)方法

本製品には釘の打込み深さを調整する機構を装備しています。
アジャスタを回転させて、打込み深さを調整して下さい。打込み深さ調整幅は３㎜です。
（１回転で約0.8㎜の深さ調整ができます。）

⚠警告

●打込み深さ調整の際は、必ずエアホースを外して下さい。

釘詰まりの直し方

① まずエアホースを外します。

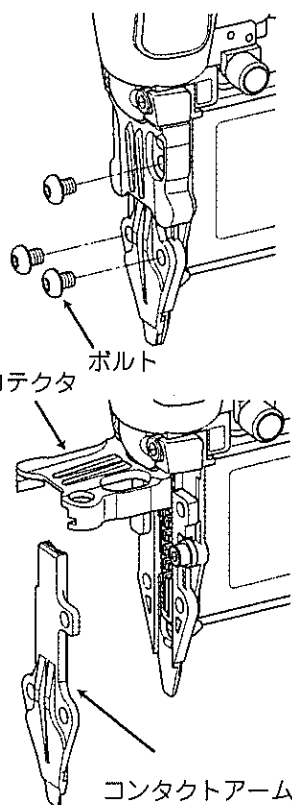
② マガジン内に残った釘を抜き取って下さい。

③ 付属の六角棒レンチ３を使用してボルト３本を外します。

④ プロテクタを開けてコンタクトアームを取り外します。

⑤ 通路に詰まった釘、破片、接着剤、木くずなどを
マイナスドライバなどで取り除きます。

⑥ 元の通りにコンタクトアームをボルトで取り付けます。
ボルトはしっかりと締め付けて下さい。

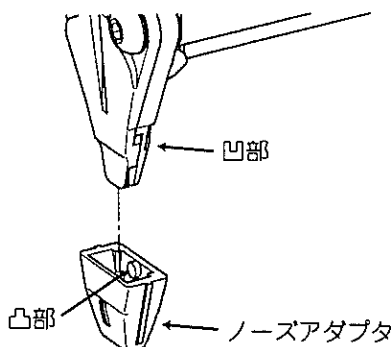
⑦ プロテクタを閉じます。

⚠警告

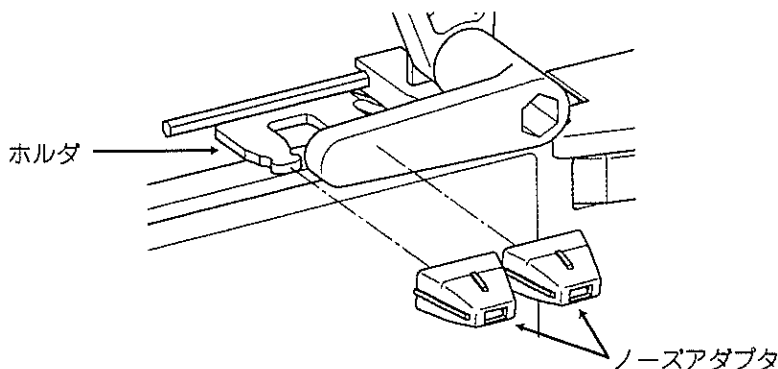
- **釘詰まりを直す際は、必ずエアホースを外して下さい。**

ノーズアダプタの使い方

化粧板等に釘を打つ際、コンタクトアーム先端で傷を付けたくない時はコンタクトアームの先端にノーズアダプタを取り付けて下さい。

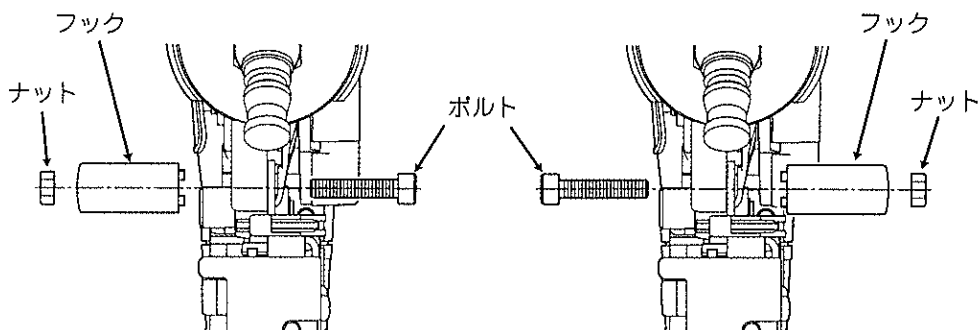
● ノーズアダプタの取付方法

ノーズの凹部にノーズアダプタの凸部が入るように取り付けて下さい。

● ノーズアダプタの保管

ノーズアダプタを使用しない時は、マガジン後方のホルダに収納しておいて下さい。
合計で2個収納できます。

⚠警告

● ノーズアダプタ着脱の際は、必ずエアホースを外して下さい。

フックの使い方

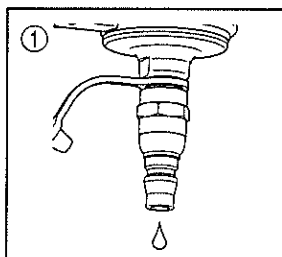
フックは本機を一時引っかけておくのに便利です。
本製品は、フックの取付向きを変更することができます。
フックを取り付けているボルトを外し、お好みの方向にフックをセットして、ボルトを締め直して下さい。

[後ろから見た図]

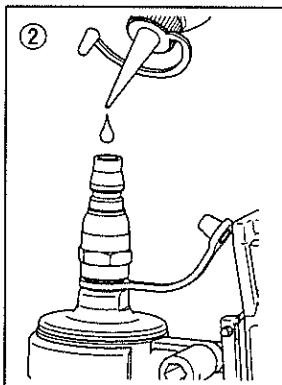
⚠警告

- フックの向きを変更する際は、必ずエアホースを外して下さい。
- フックを腰のベルトなどにかけないでください。フックがはずれて本機が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。

7．使用後のメンテナンス

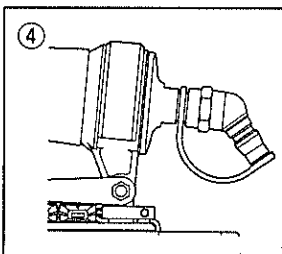
①水抜きを行なう

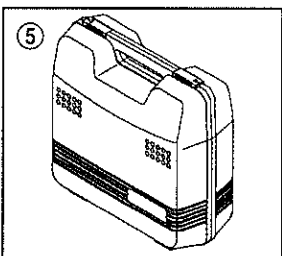
本製品のエアプラグをしばらく下に向け、本体内部に残っている水分をできるだけ除去してください。

②オイルを注入する

本製品に付属している油サシ（タービン油 JIS 2種 ISO VG32)を2～3滴(約1cc)エアプラグより注入してください。指定外のオイルを使用すると、故障の原因となります。

③本体の清掃

本体が、埃、木屑、砂などで汚れている場合は、エアダスタで清掃してください。

④エアプラグキャップの使用

エアプラグ周辺に異物（砂、切り子など）が付着していない事を確認し、エアプラグキャップをします。

⑤作業後の保管

プラスチックケースに収納し、直射日光のあたらない場所で保管してください。

全国に拡がるアフターサービス網

・お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(771) 3462
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0478〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(25) 4696
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈0593〉(51) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(841) 2201
高松営業所	〈087〉(841) 2201
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

2005.11

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）